



Japan Sesame Association

皆様こんにちは！（胡麻握手！）

最近はコロナウィルスの話ばかりが目立ちますね！

このコロナウィルスですが、考え方によってはプラスにも取れることが大いにあることを感じています。それは「気が付かないことを教えてくれている」ということです。

そもそも「ごまで世界平和」を目指すうえで最終的にはお金の存在しない「物々交換」の世界こそが真の平和であると思っていたからです。

コロナウィルスで教えてくれたことには、あたりまえであったものへの会社愛、家族愛、地球愛があります。

予定していた出張が無くなり、会社や家族とのだんらんが増えたことで、忘れていた大切なものを教えてもらいました。

だからコロナウィルスを敵視するのではなく、コロナウィルスに感謝してみることが今求められていると思えて仕方ありません。

非行に走った我が子を見捨てるのではなく、「おまえがいくら悪くてもおまえを信じているよ」と心から言える親であるように。。。

皆さん思い切ってコロナウィルスに感謝してみませんか？

今はその時だと思いますよ！

話は変わりますが、今年は日本に目を向け、高齢化社会におけるごまの健康と幸せづくりにチャレンジしたく思っております。

介護施設なども回ろうと思っております。

またそういった可能性がある方は是非ごまの所作を教えてあげてください。私、深堀だけでは限界が来ているからです。重ねてお願い申し上げます。

さあ。本年度もごまで世界平和を一緒に実現していきましょう！

心からの感謝を込めて

理事長 深堀勝謙 拝



Japan Sesame Association

講習年月日 令和2年 3月 13日
氏名(所属先)

長村 義美

コロナウィルスの蔓延で、デパート催事が減って講習を再度受けるチャンスを得ました。

お客様が、ごまに対して、頭で記憶、されるのではなく、身体で(腹)記憶して頂く為に、販売する者の、ごまに対する感謝と所作に、お客様が感動を覚え、その感動が、知人や友人に伝えたい様に見えるのが、7°Dであると思いました。

お客様は、ごまに対してのお金を支払うと考えるより、ごまもする事ながら、ごまを突く人、そしてお客様とごまに、感謝して、世の人の為に役に立つ人にお金を頂けるのだと考えました。しかし、コロナの影響は、まだまだ続きそうなので、ユーチューブ等で、ごまの感動と、一般の人々に広く知って頂ける営業活動が、急務になってくる気が、ふっふっふとわいて来る講習会でした。

*講習会に参加して (講習会の感想や思いを記載してください。)



Japan Sesame Association

講習年月日 2020 年 3 月 13 日

氏名(所属先)

藤本 仁平

講習を受けさせていただくのは、何回目になるのだろう。

毎回、内容が濃くなっている。

その新しい情報を、日々の仕事に取り入れて
自分のものにしていかなければと感じました。

講習を受けるたびに、心身を引き締めることが
できます。

ひとつひとつ思いを込め、自分の至らないところや

未熟な心を改めて、これからも皆様へ

心が伝わる胡麻になるように、作って

いきたいです。

*講習会に参加して（講習会の感想や思いを記載してください。）



Japan Sesame Association

講習年月日 令和2年 3月 13日

氏名(所属先)

石田 敦子

所作の基本を身につけるということは、とても大切なことだと

実感しました。自分の心が、そのまじり胡麻に伝わるので

その胡麻を食べた瞬間、美味しいと感じるのも、にがいと

感じるのも、胡麻を扱う人の心次第だと実感しました。

所作の中で、お相手の健康と幸せを願っているから、ほんのりと

たたく時、自分の邪心も伝わることを感じました。

これからは、さらに心を大切にしていきたいと思っております。